※令和４年度以降入学生用

学校番号	3001

令和５年度　環境緑化科

教科	農業	科目	グリーンエコプログラム	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、様々な環境問題について行います。
・各自で、それぞれ違った「環境問題事象」の課題を与え、それらについて自学自習し、まとめて授業を展開してもらいます。
　発表者は「課題を調べる→まとめる→発表を行う→質問に答える→復習を行う（学びなおし）」
　受講者は「発表を聞く→質問をする、理解する→発表を評価する→自分の発表について考える」
・授業内で、環境問題の授業やＤＶＤ鑑賞などを通して、知識を得るとともに学んだ環境問題について小論文を書きて提出してもらいます。
・クラスメイトの発表を参考に、一人わかりやすい授業をできるよう努力することを期待します。（良い授業のためには、前もって板書計画やＰＰの作成が不可欠です。）

２　学習の到達目標

・都市環境問題を中心に様々な問題について学ぶとともに、それら諸問題を複合的にとらえて解決策や改善策を考える。自分なりの思考や判断力を身に付けることをめざす。
・環境問題のリサーチ方法やまとめる力を身に付ける。（人に伝える力、アピール力などの向上）
・クラスメイトの発表を理解し、自分なりの評価や意見、解釈を持つ。
・発表のやり方などを創意工夫し、アピール力を培う。
・環境問題を認識し、それらを解決するための知識や思考を身につける。環境問題は現代社会が解決しなければならない問題と認識し、他人事でなく自分事として取り組む姿勢を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	環境問題に関する基本的な知識や解決方法及び現在の状況や取り組みを理解するとともに、それらを調べる技能やまとめる技能も身に付けている。	環境問題の問題点を精査し、どのように解決していくべきか自分の考えを持ち、さらには、自分自身が授業を展開して知識などを発表して、環境問題の解決方法を模索することができる。	環境問題は様々な事柄を起因としており、複合的な事象も多く単純な解決方法はない。これらを踏まえ、環境問題を多面的にとらえて、それぞれの角度からアプローチできている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	環境問題基礎	・環境問題について ・SDGsについて「	a:環境問題についての知識を理解する。 b:環境問題とＳＤＧｓの関連性などについて考える。 c:環境問題を解決する方法を考える。	定期考査	定期考査	提出ノート
二・三学期	環境問題	・環境に関する諸問題	a:環境問題について理解する。 　発表する内容を精査する b:環境問題の原因や解決方法について考える。 　発表方法を検討し、わかりやすく説明する。 c:環境問題について自分なりの考察・結論を持つ。 　板書計画等準備を入念に行い、質疑応答の対策なども充実させている。	定期考査 発表内容	定期考査 発表内容	提出ノート 発表内容

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度